

2020-1-27
東芝マテリアル株式会社

窒化ケイ素基板の第2生産拠点開設について

東芝マテリアル株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：青木克明）は、大分県大分市に窒化ケイ素基板の第2生産拠点を開設することを決定しました。第2生産拠点の整備費用として、2022年度までに100億円を超える規模の投資を計画しています。同拠点での生産は2021年7月に開始する予定です。

窒化ケイ素基板は、熱伝導性や耐久性に優れており、自動車や産業機器において省エネルギー化のニーズが高まる中、パワー半導体の放熱・絶縁部品として需要が拡大しています。一方、近年増加している自然災害の影響を考慮したBCP^注対応の重要性も高まっています。

これらの状況を踏まえ、当社は、株式会社ジャパンセミコンダクターの大分事業所内に窒化ケイ素基板の第2生産拠点を開設することを決定しました。第2生産拠点の生産能力は、約4万m²/年からスタートし、需要に対応して段階的に引き上げていく計画です。なお、本社工場（神奈川県横浜市）での生産も継続します。

当社は、今後も高品位な製品を安定して供給し、省エネルギー性能の高い自動車や産業機器の実現に貢献していきます。

注 BCP：Business Continuity Plan（事業継続計画）

以上

本資料に関するお問い合わせ先：

東芝マテリアル株式会社 総務担当 TEL：045-770-3100